

地域密着型サービス評価の自己評価票

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

↑  取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>			
<b>1. 理念と共有</b>			
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	「理念」介護は心 常に皆に見えるような場所に掲げている。	
2	<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	ミーティング時、個人面談時に読んで再認識してもらっています。	
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる</p>	地域の行事や催し物には常に参加して地域の人と交わっていくように心がけています。	
<b>2. 地域との支えあい</b>			
4	<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	近くの幼稚園、保育園、小学校の行事など、参加したり、公園で散歩など、会ったりしてお話をしたりしています。	
5	<p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	地域の行事にはできるだけ参加して交流しています。地元の職員が家族同様一緒に参加しています。	

福岡県 グループホーム 楽園

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	○	<p>空き缶拾いやゴミなど落ちているのをビニール袋を持って行き拾ってくるようにしたい。</p>
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>		
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	○	<p>関係機関の調整できれば1回/2ヶ月は行いたい。</p>
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>		
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>		
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(〇印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>			
12	<p>〇契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時、家族や本人の状況や要望を聞いた上で、契約書の説明、重要事項の説明を行い、納得していただいた上で署名、捺印していただいています。</p>	
13	<p>〇運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>契約時に、事業所の苦情受付、相談受付窓口として施設長がその任に当たる旨説明すると共に、行政の苦情受付窓口を重要事項説明書に明記し、利用者到手渡しています。また玄関に意見箱を設置し自由に投函していただくようになっています。承ったご意見、苦情等に対しては優先順位第一位で処理するようになっています。</p>	
14	<p>〇家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>ご家族へ郵便物を郵送する機会(例えば請求書の送付時)に、レクリエーションや行事に参加した際に撮影した写真を同封したり、担当者が手書きした手紙を同封し現況をお知らせしています。月一回「楽園便り」を発刊し、事業所の状況をお知らせしています。</p>	
15	<p>〇運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>玄関に意見箱を設置し自由に投函していただくようになっています。現実的にはお電話でお叱りなりご意見をいただくケースが多いのですが、事例別に管理者、担当者及びスタッフを交えて対応策を考えています。担当者に個人的にいただいたご意見やお叱りも隠すことなく言ってもらい、運営全般にかかわることとして対応しています。</p>	
16	<p>〇運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>月一回のミーティングに全員参加し、運営上に関わる問題点や改善点を自由に発言してもらっています。発言の機会は伝言ノートによっても与えています。出された意見で早急に解決すべき事案は、可能な限り速やかに実現するよう心がけています。</p>	
17	<p>〇柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>勤務体制は該当月の前月末までには職員に周知徹底しています。勤務表作成にあたっては業務に差し支えの無い限り職員の要望を受け入れています。職員がやむ得ない事情で出勤できなくなった場合、職員間で勤務を交代するように話し合う、それが出来ないときは管理者が対応するなどしています。</p>	

福岡県 グループホーム 楽園

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>創立以来1年になるが職員の入れかわりが多かったが定着できた職員に依り、カバーできる部分もあった。(勤務表)</p>	○	<p>担当者としての責任を感じて、もう少し個人的に関わりを持つようにしていきたい。</p>
5. 人材の育成と支援				
19	<p>○人権の尊重</p> <p>法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している</p>	<p>性別、年齢、性格などを理由に排除しないように採用しているが、本人がなじめないでやめた場合が多かったので今後の課題。福岡県の事業でニートの受け入れも行っていきます。</p>		
20	<p>○人権教育・啓発活動</p> <p>法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる</p>	<p>毎月のミーティング時、守秘義務関する事及び認知症であっても人格を尊重した介護に徹するよう伝えていきます。</p>		
21	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修情報(FAX、市政だより、新聞、福祉プラザ)に依り、随時研修を受けるようにしています。内部研修はミーティング時に行っています。</p>		
22	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>2ヶ月に1回位のペースで勉強会、情報交換会、施設相互訪問等を実施しています。</p>		
23	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>随時個人面談を行い悩みを聞き、相談に応じています。職員間のコミュニケーションを深めるため、焼肉パーティー、忘年会、クリスマスパーティー等を実施しています。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
24	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p> <p>個人々々を評価し、パート職員の正職員への登用、職員の役付への昇格等、積極的に行ってきました。賞与も貢献度に応じ支給しています。</p>		
<p><b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b></p>			
<p>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</p>			
25	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p> <p>相談時には、家族、本人の話を共感を持って心より傾聴することに依り信頼関係を構築できるように心がけました。入所時、面談にてフェイスシートを作り、本人からの希望を伺うことを実施しています。</p>		
26	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p> <p>同上</p>		
27	<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p> <p>帰宅願望が強く、家族への電話が頻回で家族より「慣れるまで電話をしないよう」相談を受け、色々な対応を試みました。</p>		
28	<p>○馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p> <p>初めはベットに寝てばかりでサロンにも来られなかったが職員が毎日声かけレクレーションにも誘い、家族にも面会や外泊等協力してもらい徐々に慣れてこられました。</p>		
<p>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</p>			
29	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p> <p>一緒に、食事作り、後片付け、掃除など、日常生活を一緒にを行い援助するようにしている。</p>	○	<p>給食日誌と一緒に食事作りをした利用者の名前と内容を書くようにしていく。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30	<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている</p> <p>ご家族が来園されたときや、必要時に電話して思いを共感しながらもご本人に必要な協力を求めています。</p>	○	<p>もっと認知症への理解を深めていただくため情報を提供していく。</p>
31	<p>○本人と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している</p> <p>ご家族と電話でお話していただいたり、ご家族との接する機会を多く作っていただくことで、ご本人の不安を少しずつ解消されるようにしている。</p>	○	<p>入居者さんには、ご家族はあなたのことを常に大事に思っておられますよ、と声かけしている。</p>
32	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている</p> <p>習い事をされていた時の知人や、一緒に働いておられた方など、今も面会に来られています。行事などにも参加していただくよう、声かけしています。</p>	○	<p>家族の協力を得ています。</p>
33	<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずにご利用者が関わり合い、支え合えるように努めている</p> <p>皆さん、日中はサロンで過ごしていただくようにしています。隣の席の方との関わりを常に見ながら席を替わっていただくなどの配慮をしています。</p>		
34	<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている</p> <p>入院されたときは、見舞いに行くなどしてその後の経過を見えています。</p>		
<p><b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b></p>			
<p>1. 一人ひとりの把握</p>			
35	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p> <p>お一人お一人の気持ちを聞きだし、ご本人の思いに添えるよう努力しています。</p>	○	<p>担当者会議を開き、入居者さんの思いを聞いている。今後も続けていく。</p>

福岡県 グループホーム 楽園

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
36	<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>		
37	<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
38	<p>○チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>		
39	<p>○現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>		
40	<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	○	記録の書き方など、今後検討する点もある。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
41	<p>○事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
42	<p>○地域資源との協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している</p>	<p>園内行事のときは地域の方がボランティアで来られます。地域行事には出来るだけ参加しています。</p>	○	<p>地域との関わりは、今まで以上に取り組み、地域に密着して行こうと思う。</p>
43	<p>○他のサービスの活用支援</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている</p>	<p>髪のカット(1回/月)、生花(随時)、演芸ボランティアに来てもらう、市のおむつサービスの情報を家族に提供などのことを行いました。</p>	○	<p>本人の意向や必要性があれば支援する。</p>
44	<p>○地域包括支援センターとの協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している</p>	<p>後見人制度を取り入れています。地域包括支援センターに相談して情報をいただきました。</p>		
45	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>それぞれのかかりつけ医に受診していただいています。かかりつけ医には病状報告を行い関係構築に努めています。</p>		
46	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	<p>認知症の専門医を協力病院として初診より連携を取り、本人、家族を継続的にサポートしています。</p>		
47	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	<p>施設長(看護師)、D. Sの看護職員とも相談しながら支援しています。</p>		



項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
48	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
49	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	○	今後、家族、ご本人の希望等を聞いて終末期をどうするか話し合いを持つようにする。
50	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	○	今後、訪問看護や往診など対応できるチーム作りを目指す。
51	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>		
<p><b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b></p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1)一人ひとりの尊重</p>			
52	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	○	反省すべき、声かけ、対応も見られるので、今後も繰り返しスタッフに声かけ、勉強会などもミーティングの中で行っていく。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
53	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>		
54	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	○	皆さんにアンケートを取り、やりたい事、食べたいものなどの意見を募りたい。
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
55	<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>		
56	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>		
57	<p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>		
58	<p>○気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>		

福岡県 グループホーム 楽園

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
59	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p> <p>曜日は一応決めているが、入居者の希望を聞いて入浴してもらっています。時間帯は、昼食後のゆっくりした時間帯にしています。</p>		
60	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p> <p>だいたいサロンで皆さん過ごしておられますが、自分の居室で休息したいときは自由に休まれています。天気の良い日にはフトン干し、週1回のシーツ交換を実施しています。</p>		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
61	<p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p> <p>一人ひとりに出来ること、掃除、料理、縫い物、洗濯などを手伝っていただいています。その人の興味のあることは進んでしてもらい、例えば花作りや床漬けなどしていただいています。</p>		
62	<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p> <p>お金は施設で預り証を発行し預かっています。買い物などに行く時は、預かり金を引き出し自分たちで支払をしていただいています。現金出納帳を記入し、常に残高を明確にしています。</p>		
63	<p>○日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p> <p>午前、午後ともに1～2回散歩に行っています。</p>		
64	<p>○普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p> <p>一ヶ月に1回はバスハイクをとって郊外に行っています。時折回転寿司も利用しています。</p>	○	<p>リエクレーションとして季節を感じられるように、花見、菖蒲見学、コスモス見学等、楽しんでいる。</p>

福岡県 グループホーム 楽園

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
65	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話は自由に出来るが手紙は出来ていない。携帯電話を持っておられる方もいます。	○	文字の書ける人に関しては、今後家族との手紙のやり取りをしたい。
66	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	家族、親戚、友人などいつでも訪問はオープンにしています。訪問されればサロン、居室などで談話されています。	○	月一回、楽園での生活の様子などをお知らせして、今どのような状況かをご家族に理解していただく。
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>				
67	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	全員のミーティングなどで話し合い、職員全員で取り組んでいる。		
68	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	入り口にセンサーが鳴るようにしていますが徘徊のある入居者があり、何度も外に出て行かれるので、すぐ下にバス停、駐車場があることもあって状況によっては事故防止のために施錠することもあります。	○	
69	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	常に見守りを行い、その人に寄り添い所在の把握はしています。		
70	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	洗剤や漂白剤等、危険と思われるものは目の届かないところにしまっています。包丁などは職員の管理の下でしまっています。		

福岡県 グループホーム 楽園

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
71	<p>○事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>	○	消防訓練、災害時避難訓練は11月28日に実施予定
72	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>	○	マニュアルにそっての職員研修の実施
73	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	○	消防訓練、災害時避難訓練は11月28日に実施予定
74	<p>○リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている</p>		<p>入居者の担当者が、ご家族来園時にヒヤリハット事例も含めて(そういう事例があった場合)直近の生活状況や健康状態を報告し、起こり得るリスクに対する認識を深めていただくと共に、快適な暮らしを継続するための協力もお願いしています。</p>
<b>(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>			
75	<p>○体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>	○	異常時は応急処置にて様子を観察、改善しない場合は家族へ報告の上、病院搬送、家族に受診依頼
76	<p>○服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	○	ごくまれに服薬忘れ等があるため、確実なチェック(目視確認の徹底)を行う。

福岡県 グループホーム 楽園

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	<p>○便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p> <p>毎日、午前中に体操、掃除後の補水、繊維物、果物などを摂取(朝、昼、夕方)など。 その他、一人ひとりの状態を見て水分摂取を奨めています。</p>		
78	<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p> <p>食後、声かけにて口腔ケアを実施。自力困難な方は職員が介助して実施しています。</p>	○	<p>義歯使用の方は、月一回程度洗浄剤でのケアをしてはどうか。(10月より実施)</p>
79	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p> <p>個人差はあるがその方に合ったケアを行っている。</p>	○	<p>中には水分摂取量の少ない方がおられるが、その方が好んで摂取されるような飲物を準備する。</p>
80	<p>○感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p> <p>マニュアル作成しており、マニュアルに添って対応している。</p>		
81	<p>○食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p> <p>調理用具、布巾は使用后、熱湯消毒とハイター漂白などを毎日実施しています。食材に関しては生鮮食品は必ず火を通し、食材一般に関しては消費期限内に消費するようにしています。</p>		
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1)居心地のよい環境づくり</p>			
82	<p>○安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p> <p>玄関には植木や花壇などを、園庭には家庭菜園や季節の花などを植え、周囲の自然環境(海など)を生かして景観や環境を良くするように配慮しています。</p>		

福岡県 グループホーム 楽園

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		
84	<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>		
85	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	○	<p>持って来られない方の方に対しては、家族の訪問時になじみのあるものを持ってきていただくようお願いする。</p>
86	<p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>	○	<p>入居者の要望に応じて居室のエアコンにて室温調整を行い、適時換気を実施。</p>
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
87	<p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	○	<p>テーブル、椅子の配置は適時確認を行い状況に合わせて配置換え、撤去等を検討しリスク回避に努める。</p>
88	<p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>		
89	<p>○建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>	○	<p>庭で、夏はバーベキューや夕涼みを兼ねて花火を楽しみましたが、来年度は誕生会やおやつを庭で食べるなど行事を増やして生きたい。</p>

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
96	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない



福岡県 グループホーム 楽園

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
100	職員は、生き活きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

志賀島の自然の中で、南側には博多湾を望み、船の行き来をのんびり見たり、北側は山の景色が居ながらにして満喫できる。利用者の希望を聞き、ほとんど毎日散歩に出かけ、地域の行事には積極的に参加して、地域のみなさまに暖かく迎えていただき、すっかり地域の一員として溶け込んでいます。入所時は元気の無かった方も、素晴らしい自然環境と地域の皆さんの元気をもらって見違えるほど生き生きとしたグループホーム・ライフをたのしんでいらっしやいます。